



効果

- 学校や保育所、公民館などの蔵書が量的・質的に充実する。
- 図書を活用した授業や行事を行うことができ、その内容の充実が期待できる。

実践方法

- 利用したい団体は、島根県立図書館館外奉仕室（松江）か西部読書普及センター（浜田）に直接来館し、借りたい図書を選ぶ。
- 学校、公民館、幼稚園、保育所、地域文庫等、原則、読書に関わる団体は利用可能。
※初めての方は問い合わせをする。
- 読み物、絵本、調べ学習用図書のほか、読書会や学校の授業等で同じ図書を複数利用できる「グループ用図書」の貸出も可能。
- 1団体 3ヶ月間、100冊以内貸出。
直接来館し、返却する。（返却ポスト利用は不可）

実践例

- 学校、学級文庫として利用。
担任の教諭が春夏冬の休みの時期に、貸出図書の交換を行う。
- 学校司書が教員の求めに応じて、授業に利用される図書を借りる。
学校図書館活用教育に一役。
- 公民館主催の企画事業に、関連図書を利用。
- 読書好きの友人同士で読書会結成。
地区の公民館を会場に、県立図書館で借りた本を話題の種にする定例集会を開催。
年に1度は文学散歩を兼ねた旅行も企画。

問い合わせ先

- 島根県立図書館
館外奉仕室
TEL 0852-22-5729
- 西部読書普及センター
TEL 0855-23-6785





効果

- 乳幼児、小・中学生をもつ親同士が、親としての役割や子どもとの関わり方について、参加者相互の交流を図りながら主体的に学習することができる。

実践方法

● 「親学プログラム」とは？

親学プログラムは、公民館職員や子育て支援センター職員、保健師、学校教職員等がファシリテーター(学習支援者)となり、保護者を対象に実施する参加型学習の標準進行手引き書。

※方法

ファシリテーターの進行により、アイスブレイクや個人ワーク、グループワーク、ふりかえりやわかちあいを通して、親としての役割や子どもとの関わり方を学ぶ。

※内容

「親としての心構え」「親子のコミュニケーション」「生活リズム」「しつけとルール」「安全と健康」「遊びと体験」「個性と夢」の7テーマ別のプログラムを用意している。

実践例

● 想定される学習の機会

- 公民館等での親学講座(家庭教育支援事業)
- 就学時検診における学習会
- 子育て支援センターでの研修会
- 保育所、幼稚園での保護者会
- 小、中学校での学級懇談会やPTA研修会

● 親学ファシリテーターの養成

島根県立東部・西部社会教育研修センターでは、親学プログラムを進行できる「親学ファシリテーター養成講座」を実施します。島根県内各地域で、多くの方が活用できるように支援します。

● 親学体験講座の実施

市町村・関係機関等の要望に応じて「親学プログラム体験講座」を実施します。お気軽に御連絡ください。

問い合わせ先

- 島根県立東部社会教育研修センター
TEL 0853-67-9060
出雲市小境町1991-2
http://www.pref.shimane.lg.jp/tobu_shakaikyoiku/

- 島根県立西部社会教育研修センター
TEL 0855-24-9344
浜田市野原町1826-1
http://www.pref.shimane.lg.jp/seibu_shakaikyoiku/

※HPからプログラムをダウンロードできます。



効果

- 活動の幅を広げたり、よりきめ細やかなサポートを受けたりすることができる。

実践方法

- 島根大学教育学部生が「1000時間体験学修」の一環として、学校や地域に出かけ、学習支援を行ったり、子どもたちと一緒に活動をしたりする。
- 「島大ビビットひろば」を主催し、島根大学教育学部に小学生を招き、それぞれの専門性を生かしたワークショップを開設する。



〈島大ビビットひろば〉

実践例

- 学校での活動
 - ①少人数学習支援、適応指導教室支援
 - ②校外学習の引率補助
 - ③特別支援員、理科支援員
- 地域での活動
 - ①公民館行事のサポート
 - ②放課後子ども教室のサポート
 - ③放課後児童クラブのサポート
 - ④子ども会行事のサポート
 - ⑤スポーツクラブ等のコーチ
 - ⑥音楽指導（合唱・吹奏楽）
 - ⑦科学実験教室アシスタント
- 島大ビビットひろば

〈これまでの活動例〉

 - ①工作（木工、エコ工作）
 - ②英語活動
 - ③調理活動（パン、うどん）
 - ④レクリエーション活動
 - ⑤軽スポーツ



問い合わせ先

- 島根大学教育学部
附属教育支援センター
TEL 0852-32-9836
E-mail:aces@edu.shimane-u.ac.jp
<http://www.aces.shimane-u.ac.jp>



効果

- 住民自らが地域の課題を掘り下げ、その課題解決に向けて幅広い世代の住民を巻き込みながら地域に元気を取り戻す。

実践方法

- 公民館は人づくり・地域づくりの拠点となっています。

【実証!「地域力」醸成プログラム】

公民館の培ってきたノウハウを、具体的な活動を通して実証してもらい、「地域力」の重要性について世論喚起することを目的とする。

- 地域ぐるみの子育て
- 伝統文化の伝承
- 災害時の避難誘導
- 世代間交流
- 安心安全なまちづくり
- 学社融合 など



H19年度選定	モデル公民館	12ヵ所
H20年度選定	モデル公民館	12ヵ所
H21年度選定	モデル公民館	13ヵ所

実践例

中学生&高校生が主役
~私たちの「ふるさとづくり」~
松江市玉湯公民館

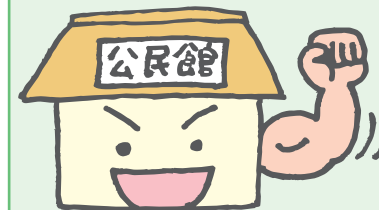
- 「還りたくなるふるさとづくり」をめざし、地元の高校生活動グループ「たまゆめんばーずくらぶ」(たまめん)を立ち上げる。
 - 毎月一回の定例会
 - たまゆ文化祭 模擬店
 - 星空観察会
 - 小学生キャンプのサポート
 - 広報誌「たまめんNEWS」発行 など



- 「たまめん」が地域の行事に参画することで企画にも幅が広がっている。また、若者の参加により住民を巻き込む契機が増え、地域活性化につながっている。

問い合わせ先

- 島根県教育庁社会教育課
TEL 0852-22-5429
FAX 0852-22-6218





効果

- 学校と地域の連携が深まり地域を愛する心が育つ。
- 地域の方とコミュニケーションを深めることで、人間力を高めることができる。

実践方法

- 生徒が販売実習を行う。
 - 学校と地域が連携協力し、地元名産品等の販売実習を行う活動。
- 地域と交流活動を行う。
 - 地域の公民館と連携した交流会や地域の方に対するパソコン講習会を実施。



〈交流会〉



〈パソコン講習会〉

実践例

- 島根県立松江商業高等学校
 - ① 地元企業と連携し、生徒が株主となってネットショップを株式会社形態で運営しています。
 - ② 地元商店街の活性化につなげる目的で、地域に出かけ、地域の人と一緒に、商品の販売実習や商業教育の活動等の紹介をする課外授業を行っています。
- 島根県立浜田商業高等学校
 - ① 公民館と連携し、地域子どもたちと「子どもキャンプ」・「夏祭り」・「しめ縄づくり」などの企画・運営をしています。
 - ② 「浜商生が教える確定申告」と題して、Web確定申告(e-TAX)の入力の講習会を行っています。
 - ③ 地元ケーブルテレビと連携し、地域の活性化につながる内容の番組制作を行っています。

問い合わせ先

- 島根県立松江商業高等学校
TEL 0852-21-3261
- 島根県立浜田商業高等学校
TEL 0855-27-0064

